一般質問は

質問方法

次の３通りから議員が選択します。
①一括質問方式（演壇で行い、３回まで可能）
②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
③１回目は演壇で一括質問、
　２回目以降は発言席で一問一答方式



議長席前の演壇で行う一般質問のようす（一括質問方式）

学校教育

児童・生徒の生成ＡＩ利用状況は

問　**急速に社会に普及している生成ＡＩの扱いについて、国から「初等中等教育段階におけるＡＩの利活用に関するガイドライン」が示されたものの、法は整備されていないことから、安易に子どもたちに活用を促すことを危惧している。市の見解は。**



答　生成ＡＩは、有用性が期待される一方で、さまざまな課題も指摘されていることから、児童・生徒の利用に当たり、活用方法の十分な検討が必要と考えている。現在、児童・生徒が使用している学習用端末では、日常的に利用している状況はなく、今後も国等の動向を踏まえ、慎重に対応していく。

高尾山学園の分校設置に向けて

問　**市は、不登校の児童・生徒のための学校である、高尾山学園の分校を東部地域に設置するとのことだが、設置を判断した理由を聞きたい。**

答　不登校の児童・生徒数は増加傾向にあり、これまでは高尾山学園への通学に課題があった東部地域の児童・生徒の選択肢の充実につながるとともに、教育の機会を確保し、安心して過ごすことができる居場所づくりを進める観点から、設置を判断した。

問　**分校の設置場所として、下柚木小学校を選定したとのことだが、保護者や地域の理解を得ながら進めることが重要と考える。保護者や地域との調整状況は。**

答　分校設置の意義や必要性のほか、同校に通学している児童への配慮など、保護者や地域に繰り返し丁寧に説明を行ってきた。その結果、校内に子どもを見守る大人が増えることは、同校の児童にも有益との意見や、東部地域の不登校の子どもたちの居場所を早く確保してほしいなどの意見もあり、分校設置について理解を得ることができた。



空き教室の活用による高尾山学園の分校設置でさらなる登校支援を推進

生涯学習

こども科学館展示物のさらなる充実を

問　**こども科学館は、子どもたちに科学全般への興味を持ってもらえる貴重な施設と認識している。宇宙をテーマにした展示が多いと感じるが、どのような理由があるのか。**

答　宇宙について学ぶことは、天文や物理、地球科学等、幅広い科学分野への関心を広げることができると考えている。また、年齢を問わず興味を持ちやすく、プラネタリウムとの親和性も高いことから、本館の特色をいかせるテーマとして展示を充実している。

問　**科学や工学は進化し続けており、時代に合わせて内容を変える必要があると考える。例えば、最先端ロボットなどを展示するのはどうか。**

答　技術革新が進む中、最先端のロボット技術等に触れる機会を設けることは、子どもたちが科学やものづくりを身近に感じ、興味関心を高める上で有効と認識しており、新たな試みとして、市内企業によるロボット操縦体験会を予定している。

問　**今後も、子どもたちの知的好奇心に応えていくため、展示物を更新していくべきと考えるがどうか。**

答　展示物の更新は、多額な経費を要することから、現時点では大規模な更新は予定していない。引き続き、子どもたちに展示物を安全に体験してもらうことを最優先に保守点検を行うとともに、イベント・講座の充実により展示機能を補完しながら、効果的な施設運営に努めていく。


科学や宇宙などのさまざまな展示物を体験できるこども科学館